

# (仮称)第7次千代田区ジェンダー平等推進行動計画策定に向けた提言(案)の概要

## 〔調査や区民会議での意見等を通して見えた課題〕

【国の方針】  
 ・国の第6次男女共同参画基本計画(骨子案)では、well-beingの実現が重要な柱として掲げられている。

【調査から見える課題】  
 ・区民の固定的性別役割分担意識も全体としては低下傾向にあるが、身近な生活場面では性別役割意識が影響を及ぼしている。  
 ・依然として固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が残っている。  
 ・多様な性のあり方や生き方への理解は進みつつあるものの、偏見や差別的言動は依然として存在している。  
 ・暴力の被害経験や目撃経験は一定数あるにもかかわらず、相談機関の認知度が低い。また、相談に対する意識の違いが性別によって存在している。(男性に対する重圧等も含む)

【区民会議での意見】  
 ○アンコンシャス・バイアスが依然として根強く残っている。  
 ○LGBTQなどマイノリティの視点を、教育・医療・生活全般で広げる必要がある  
 ○女性支援新法の趣旨を踏まえ、弱者・困難を抱える人への支援が重要

【国の方針】  
 ・女性活躍推進法の改正や東京都の女性活躍推進条例において、事業主の主体的な取組みの促進が規定されている。

【調査から見える課題】  
 ・中小企業は、人材やノウハウの不足から制度運用への負担感が大きく、女性活躍への対応が十分に進んでいない現状がある。

【区民会議での意見】  
 ○家庭では女性の発言力が増しているが、企業では依然として遅れている。  
 ○産業領域では、義務的な男女平等ではなく、イノベーションや便益の視点が必要

【国の方針】  
 ・「ジェンダー主流化」の重要性が強調されている。

【調査から見える課題】  
 ・政治の場や地域活動の場での「男性優遇」感が依然として高い。

【区民会議での意見】  
 ○性差を「是正するもの」だけでなく「活かすもの」として捉え直したい  
 ○千代田区は住民の多様性が高く、自治組織の改革が必要

## 〔提言内容〕

提言1  
 多様な幸せ(well-being)の実現やアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)への気づきを促す取組を展開するなど、様々な場面を通じて人権尊重の意識啓発を行う

提言2  
 安心して相談できる環境づくりを進めるとともに、制度面においても包摂的な対応を検討・推進する

提言3  
 配偶者暴力防止法や困難女性支援法等の改正を踏まえ、相談、保護、自立支援まで切れ目のない体制を強化する

提言4  
 デートDVを含め、青少年の虐待・性暴力の被害を防ぐための取組を強化する

提言5  
 企業規模や実情に応じた制度周知と支援を一層強化する

提言6  
 女性のキャリア継続・活躍が可能となる環境整備を推進する

提言7  
 政策・意思決定過程における女性の参画を拡大し、地域の女性リーダーの育成を行う

提言8  
 平常時からのジェンダー平等の視点を取り入れた防災体制の確立を一層進めていく

提言9  
 ジェンダー主流化を徹底するとともに、男女共同参画センターMIWの機能強化を行い、地域団体等との連携を強める

## 〔基本的な考え方(第6次)〕

1. 性別や性的指向、性自認にかかわらず、だれもが尊重される社会をめざす

2. 多様なライフスタイルが実現できる社会をめざす

3. 互いに認め合い、だれもが参画できる社会を目指す

【第7次計画策定の視点】

1. ジェンダー主流化の取組による多様な幸せ(well-being)の実現
2. 女性が安全・安心して生活でき、いきいきと活躍できる環境の実現
3. 関係機関の連携強化によるジェンダー平等の実現